

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2015年7月21日

【会社名】 株式会社日立製作所

【英訳名】 Hitachi, Ltd.

【代表者の役職氏名】 執行役社長兼COO 東原 敏昭

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

【電話番号】 03-3258-1111

【事務連絡者氏名】 法務本部 部長代理 海保 太郎

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

【電話番号】 03-3258-1111

【事務連絡者氏名】 法務本部 部長代理 海保 太郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 1【提出理由】

当社は、2015年7月21日の執行役社長の決定（取締役会から業務執行の決定を委任されている。）により、2016年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、株式会社日立メディコ（以下「日立メディコ」という。）及び日立アロカメディカル株式会社（以下「日立アロカメディカル」という。）を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施することを決定したので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第7号の3の規定により、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

## (1) 吸収合併の相手会社についての事項

## 日立メディコについて

## イ 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社日立メディコ
本店の所在地	東京都千代田区外神田四丁目14番1号
代表者の氏名	取締役社長 山本 章雄
資本金の額	13,884百万円（2015年3月31日現在）
純資産の額	40,125百万円（2015年3月31日現在）
総資産の額	108,082百万円（2015年3月31日現在）
事業の内容	医療機器及び医療情報システムの開発、製造、販売、据付及び保守サービス等

## ロ 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

決算期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
売上高（百万円）	87,207	90,200	83,298
営業利益（百万円）	4,428	4,180	4,163
経常利益（百万円）	3,579	2,084	1,759
当期純利益（百万円）	3,586	9,993	1,043

## ハ 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

株式会社日立製作所 100.00%

## 二 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社は、日立メディコの発行済株式のすべてを所有している。
人的関係	当社は、日立メディコに対して、取締役2名及び監査役1名を派遣している。
取引関係	当社は、日立メディコとの間で、研究開発の一部受託及び医療機器の購入などの取引等を行っている。

## 日立アロカメディカルについて

## イ 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	日立アロカメディカル株式会社
本店の所在地	東京都三鷹市牟礼六丁目22番1号
代表者の氏名	取締役社長 清村 幸利
資本金の額	6,465百万円（2015年3月31日現在）
純資産の額	53,239百万円（2015年3月31日現在）
総資産の額	68,622百万円（2015年3月31日現在）
事業の内容	医用電子装置、汎用分析装置、医用分析装置の製造及び販売等

ロ 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

決算期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
売上高(百万円)	54,769	59,930	57,027
営業利益(百万円)	4,387	7,255	5,305
経常利益(百万円)	6,037	8,940	5,775
当期純利益(百万円)	3,582	4,974	3,621

ハ 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

株式会社日立メディコ 100.00%

ニ 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社は、日立アロカメディカルの発行済株式のすべてを所有(間接所有)している。
人的関係	特筆すべき重要な人的関係はない。
取引関係	当社は、日立アロカメディカルとの間で、研究開発の一部受託及び医療機器の購入などの取引等を行っている。

(2) 吸収合併の目的

現在、ヘルスケア分野においては、先進国では高齢化や慢性疾患の増加、新興国では経済成長に伴う医療水準の向上などの課題が指摘されており、医療関連市場(診断・臨床、検査・試薬、インフォマティクス(サービス、プラットフォーム))は、今後、年率5%以上の成長が見込まれている。当社にとっても、ヘルスケア事業は、画像診断装置やがん治療装置などの従来注力している事業に加え、これまで培ってきた技術・ノウハウとITを組み合わせた新たなソリューションの提供によって、大きな成長が期待できる分野であり、社会イノベーション事業においても重要な位置づけにある。

これまで当社では、ヘルスケア事業拡大のため、2011年3月に日立メディコによるアロカ株式会社(現日立アロカメディカル)の完全子会社化、2014年3月に当社による日立メディコの完全子会社化を実施し、2014年4月にはヘルスケアグループ及び社内カンパニーであるヘルスケア社を新設したほか、2015年4月には日立メディコ及び日立アロカメディカルの一体運営を行うなど、組織体制を強化し、事業の強化と効率的な経営体制作りに取り組んできた。

今回の再編により、当社、日立メディコ及び日立アロカメディカルで重複している国内外の拠点の集約・効率化及び経営の完全一体化を進めていく。

今後は、診断・臨床、検査・試薬、インフォマティクスという3つのコア領域をさらに強化するとともに、これらを組み合わせたソリューション、情報・通信システム社などの当社の各社内カンパニーと連携したサービスの提供などを通じ、ケアサイクル・イノベーション、医療イノベーションに注力することで、ヘルスケア事業の成長戦略を加速し、日立グループ全体でヘルスケア・イノベーションによる医療の質向上と効率化をめざす。

(3) 吸収合併の方法、吸収合併に係る割当ての内容、その他の吸収合併契約の内容

イ 吸収合併の方法

当社を存続会社、日立メディコ及び日立アロカメディカルを消滅会社とする吸収合併である。

ロ 吸収合併に係る割当ての内容

当社は日立メディコ及び日立アロカメディカルの発行済株式のすべてを所有している(間接所有を含む。)ため、本合併において株式その他の財産等の割当ては行わない。

ハ その他の吸収合併契約の内容

吸収合併契約は、2015年12月に締結予定である。

(4) 吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

該当事項なし。

- (5) 吸収合併の後の吸収合併存続会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社日立製作所
本店の所在地	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
代表者の氏名	執行役社長兼COO 東原 敏昭
資本金の額	458,790百万円
純資産の額	現時点では確定していない。
総資産の額	現時点では確定していない。
事業の内容	情報・通信システム、社会・産業システム、電子装置・システム、建設機械、高性能材料、オートモティブシステム、生活・エコシステム、その他(物流・サービス他)、金融サービスの9セグメントにわたる、製品の開発、生産、販売、サービス(連結)